

## 谷水地区の概要

農家戸数……17戸 平均勾配……1 / 5  
耕作面積……4.5ha 法面構造……石積  
筆数……230枚 水源……ため池

## 賞歴・認定

平成8年……第5回美しい日本のむら景観  
コンテスト農林水産大臣賞受賞(農林水産省)

平成11年……日本の棚田百選に認定(農林水産省)

## 棚田暦

5月上旬……馬鈴しょ収穫  
5月下旬……耕起  
6月上旬……代掻き  
6月中旬……田植え  
8月上旬……除草  
10月上旬……稲刈り  
11月下旬……耕起  
12月中旬……馬鈴しょ作付  
2月中旬……マルチ張り

## Infomation

### 南島原市 南有馬総合支所 経済課

〒859-2412 長崎県南島原市南有馬町乙1023番地  
TEL 050-3381-5172 / FAX 0957-85-3142

南島原市 URL <http://www.city.minamishimabara.lg.jp>

経済課 e-mail [minamitarima-keizai@city.minamishimabara.lg.jp](mailto:minamitarima-keizai@city.minamishimabara.lg.jp)

### 南島原市 地域振興部 商工観光課

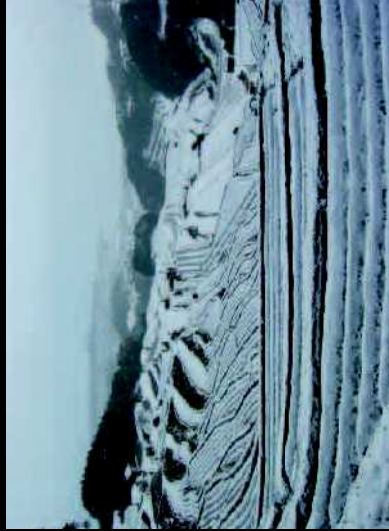
〒859-2202 長崎県南島原市有家町山川158番地  
TEL 050-3381-5032 / FAX 0957-82-0217

商工観光課 e-mail [shoukougankou@city.minamishimabara.lg.jp](mailto:shoukougankou@city.minamishimabara.lg.jp)

# 棚田

— Tanada —

in 南有馬町



## 南島原市南有馬町の紹介

南有馬町は、島原半島南東部に位置し、総面積23.24km<sup>2</sup>で有明海に面し、丘陵地からの有明海の眺望は素晴らしい。天草の島々と遠方に連なる九州山地等を一望に見渡すことができる風光明媚な地域で、平成18年3月31日に近隣8町が合併し、南島原市となりました。

南有馬の由来は、「原城」(国指定史跡)を築き、この地を納めた領主「有馬氏」が地名として残ったものと言われています。この原城跡は「島原の乱」(1637年)の舞台となっており、キリシタン3万7千人が天草四郎を総大将として、徳川幕府軍と戦い、そして滅んでいった哀しくもロマンを秘めた歴史を持っています。

また、南有馬町は日本彫塑界を代表する彫塑家であり、長崎市の平和祈念像の作者としても知られる(故)北村西望の生誕の地で、生家跡は「西望記念館」として整備されています。

## 気象及び地勢

気象は、温暖で年間平均気温16.5℃、平均降水量1,768.5mm、日照時間2,000時間内外です。

地形は、雲仙西部山岳丘陵地より有明海に向かって扇形に展開しており、地形の約80%が丘陵地帯で平坦地に乏しいが、耕地は山間部まで階段状に開けています。耕地の利用率はかなり高いが、河川は川幅が狭く流れも短く水資源に恵まれていないため、農業用水の大半を、大小660余りの溜池に依存しています。

## 谷水棚田

本町北西部に位置するこの谷水地区は、平成8年度「第5回美しい日本のむら景観コンテスト」において農林水産大臣賞を受賞したことから、県より推薦を受け棚田百選認定へと至った。耕作面積約4.5ha、棚田枚数約230枚を有している。この地区は、水稲の裏作として馬鈴薯栽培が盛んであり、四季折々の棚田の景観を味わう事が出来る。

棚田の農作業は、耕起、荒播き、畦塗り、代掻き、草刈り、刈り取り、掛け干し作業が基本である。その中でも畦塗りは、棚田の保全に重要であり、過酷な労働である。現在では、畦塗りの作業を軽減するため、畦の上部をコンクリートで保護する手法もとられている。

